

ひたちおおた てくてくウォーク ⑤

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

② ハイキングの看板



竜神大吊橋や袋田の滝までなどのコースが書かれている広城の地図。

④ 男体山頂上からの景色



←現在震災で山道が一部崩れていて、大子側の健脚コースからのアクセスは難しいと地元の方に教わりました。

⑤ 大円地越



大きなベンチとテーブルがあり、休むのにちょうど良い場所です。

持方ハイキングコース

① 「にほんの里山100選」の碑



ここに車を止めて歩き始めます。トイレもあり男体山頂上までの最短ルートです。

③ 腰掛石



徳川斉昭公が腰を下ろしたと伝えられる石



今回は、上高倉町持方地区から男体山に登ってきました。たかだか標高654mと侮ること無かれ！ 通常は大子側からアクセスすることが多い男体山ですが、山頂はちょうど大子町と常陸太田市の境となります。

平成20年に「にほんの里山100選」に選ばれた持方集落から頂上に通じる登山道があり、1時間程で頂上に着くことができます。「にほんの里山100選」の碑の駐車場で車を止めて歩き始め、登山届を入れる「ヤッホーポスト（こんなところがあるところは、やはり登山）」から表参道と呼ばれる山道に入ります。登っていくと大円地越との分岐（帰りは大円地越に下ります。）があり、頂上にあるTVアンテナを稼働させるための電線（電柱）が続きますので道を間違えることもありません。

頂上に着くと社があり、疲れが吹き飛ばすほどの絶景が見られます。これからの紅葉の季節には、持方までのアクセスに武弓林道を通ると、林道沿いに展望台があるので併せて絶景が見られます。

表紙によせて 実りの秋。真っ青な空と、真っ白な雲のコントラストが目にもまぶしいくらい鮮やかなある日、たわわに実った稲穂が頭をたれ、金色の絨毯を敷き詰めたような田園風景が市内のあちこちで広がりました。そんな稲穂の先で赤とんぼが一休み。この先、日に日に秋は深まり、紅葉した木々が常陸太田を秋色に染めていきます。

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690
☎72-3111(内線303・304) Fax72-3002

* 広報ひたちおおたは市のホームページでもご覧になれます
URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

この広報紙は再生紙を使用しています